

公共事業再評価調書（3回目再評価）

所管課： 河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：小波津川河川改修事業		前再評価年度：平成29年度		
	事業種別：総合流域防災事業	事業主体：沖縄県		事業期間：H15～R10	
	事業箇所：西原町	根拠法令：河川法			
	総事業費(百万円)：8,503	費用内訳：補助 9/10		事業量：3.8km	
1-2 前再評価以降の計画変更	特に無し。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） ・事業期間が令和10年度まで。				
4 事業の進捗状況 (R4.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	8,503	3.8	64.1	
	実施済	6,860	1.8	31.5	
	率	81%	47%	49%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	平成30年10月までに河口から国道329号までの整備が完了した。国道329号から役場までの区間についても、令和4年3月時点で概ね整備が完了している。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年 R4) (単位: 百万円)	① 一般資産	84,966	① 建設費	8,125	
	② 農作物	211	② 維持費	2,509	
	③ 公共土木施設等	63,045			
	④ 間接被害額	20,414			
	便益(B)	168,635			
	基準年換算(B)	81,127			
	⑤ 残存価値	169	総費用	10,634	
	総便益	81,296	基準年換算(C)	14,089	
	※総便益は、河口から亭良佐橋までの区間(L=2.36km)における想定氾濫区域から算出。 ※総費用は、全整備延長(L=3.8km)で算出。 費用便益比 (B/C) = 81296 / 14089 = 5.8				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：令和2年に西原さわふじマルシェ(農水産物流通・加工・観光拠点施設)が供用開始した。親水性に配慮することで、より良い水辺空間の形成が期待できる。 ② 地元・自治体：平成30年度～令和4年度にかけて、上流側の早期整備や下流側の雑草木除去等の維持管理について地元から要望があった。また、令和3年7月に上流域のデイゴ並木を保存するよう地元から要望があったため、撤去する方向で設計していた河川線形の見直しを行っている。 ③ 利害関係者：特に問題なし。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 未整備区間については河川の流下能力が不足しており、依然として集中豪雨等による洪水被害が頻発していることから、早期整備の必要がある。 ② 事業の効率性： 役場前までの用地取得が完了しており、河川の両岸に沿って西原町道事業とも連携し実施していることから、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 河口部から役場までの区間については、整備が概ね完了し、同区間の浸水被害が軽減された。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：国道329号から役場前の区間について、令和5年度までに整備完了を目指す。引き続き役場から上流部については、現計画通り事業を進め令和10年度までに整備完了を目指す。 ② 対住民関係：特に問題なし。 ③ 執行体制等：現体制で執行可能である。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・完了した箇所については河底に溜まっている土砂を適切に管理していただきたい。事業完了後も適切な管理に努めてほしい。 ・前回再評価の意見である整備後の生物調査の実施・報告を引き続き行っていただきたい。 ・川沿いを歩く歩行者の安全を確保するように転落防止柵を設置していただきたい。				

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画